

障害者の芸術作品発掘

福祉法人・美術家ら 作業所など訪問

社会福祉法人「県福祉事業団」（上宮田町）が、障害者の芸術活動に取り組んでいる作業所などを訪問し、絵や陶芸など芸術作品を発掘する取り組みを3年前から始めている。これまで県内の作業所など延べ約70カ所を訪問。作品展への出品などにつなげてきた。障害者が芸術で自立できるきっかけづくりとしても注目される。



美術家の奥野誠さん（右）ら作品を選ぶ担当者＝和歌山市三沢町1丁目

8月中旬、自閉症やダウン症などの人たちが創作活動に取り組み、絵画教室「ほっととちヨコレート」（和歌山市）。「この作家の感覚、画面いっばいに取める意識がすごい」。教室を訪れた美術家、奥野誠さん（65）が、紙いっばいに描かれたブルドーザーやクレイン車の絵を見てうなづいた。用意されたのはクレヨンなどで描かれた動物など作品30点ほど。そのなかから、約1時間かけて5枚の絵を選んだ。同教室の松本よしみ代表（57）は「プロの作家に見てもらい、より多くの人に作品が届けたい機会が広がるのはうれしい」と話す。

県福祉事業団は、2015年3月から作家や作品の発掘を始め、今年9月までに延べ計約70カ所の障害者の作業所や支援学校などを訪問してきた。選んだ作品は、和歌山市や御坊市で開催される作品展「アールブリュット展」に展示。昨年は41人の作家の105作品が並んだ。「アールブリュット」は美術の専門教育を受けていない人による芸術を意味する。美術家の奥野さんは「障害のあるなしに関わらず、一つの文化活動として作品を広めることに意味がある」と話す。

発表→販売 報酬得て自立の機会を

作品展をきっかけに他の作家とつながった例も出てきている。高野町の陶芸家和田直樹さん（37）は、1年ほど前のアールブリュット展で知的障害のある辻内健一さん（47）の陶芸作品に出会った。その作品に心打たれ、自身の作品とともに来年5月に京都で開催される販売会への出品につながった。和田さんは「作品を見たとき縄文土器に通じるような力強さややさしさを感じ、ただごとでないと感じ、ヨックを受けた」と話す。

同事業団によると、20年の東京五輪・パラリンピックに向け、全国的に障害者の文化芸術活動を後押しする機運が高まっているという。その一方で、これまでの障害者による芸術制作は福祉の枠組みにとどまり、表に出ることがなく、埋もれてしまうことも多かった。同事業団の原見泰弘さん（37）は「作品を発掘し、発表する機会を増やし、最終的には販売も支援する仕組みを作りたい。障害者が作家として報酬を得て自立できる機会を作っていきたい」と話す。

今回のアールブリュット展は、御坊市御坊の「ぎやらりーなかがわ」で13日から12月25日（毎週水曜日休み）。午前11時から午後4時半。問い合わせは同事業団（0739・47・6640）。

（片田貴也）

フラッシュ

◆屋根補修の男性が転落死
5日午前8時50分ごろ、白浜町栄の紀南農協とんだ支所の倉庫で、台風で傷んだ屋根の補修作業中だった同農協職員宮崎保司さん（44）＝田辺市新万Ⅱが、スレートぶきの屋根を踏み抜き、約6・2メートル下の地面に転落した。白浜署によると、病院に搬送されたが、全身を強く打ち約2時間後に死亡が確認された。宮崎さんは、屋根の上で5人で作業していた。署は事故原因などを調べている。

◆和歌山の70代女性、389万7千円の特殊詐欺被害 県警は5日、和歌山市の70代女性が現金389万7千円をだまし取られる特殊詐欺被害に遭ったと発表した。和歌山北署によると、「訴訟最終告知のお知らせ」と題するはがきが女性宅に届いた。女性が9月10日に、はがきの電話番号にかけたところ、法務省職員を名乗る男から「訴訟取り下げのために弁護士を紹介します」などと言われた。紹介された男に電話をかけたところ、「取り下げには200万円が必要」と言われ、11日に200万円を指定された東京都内の住所に宅配便で送った。その後、訴訟の相手方をかたる男からも電話で「もっとお金持っているや」と言われ、9月28日までの間、複数回にわたって、計389万7千円を送ったという。

総本山 根来寺指定

国

◆陸上
④井戸（日高）
◇軟式野球
◇成年男子
▽1回戦
和歌山（森自動）
0001
千葉（京葉銀）
0000
（延長17回、16）

和歌山2 復1

▽1回戦
◇成年男子
◇ソフトテニ
◇少年女子
▽2回戦
埼 玉2 復0
◇バドミント
◇成年男子

使える中! 進呈日 合は翌火曜日

和歌山2 復1